有田町社協だより

●ボランティアだより●

第45号　平成25年11月

発行／社会福祉法人
有田町社会福祉協議会

●本　所
〒844-0027
有田町南原甲664番地4
TEL0955-41-1315

●西有田支所
〒849-4153
有田町立部乙2462番地2
TEL0955-46-4733

印刷／印刷ショップありた

あなたの笑顔で地域が変わる

笑顔いっぱいの社協福祉のつどい

もくじ

社会福祉のつどい 開催 ……P2
ミニ運動会、シルバースポーツカーニバル、介護予防教室「フレッシュくらぶ」……P3
ちろりん村バスハイク、はればれクッキング教室、高齢者サロン ……P4
ご寄付のお礼 ……P5
教育支援式貸付制度・社協介護サービス・法律相談所のお知らせ、社協会費ありがとうございます…P6
車をいただきました、高齢者赤い羽根のつどい 開催、ちろりん村 いも掘り体験 ……P7
子育てサポーター養成講座 開催、傾聴ボランティアスキルアップ講座、
車いすをいただきました、ありた演友会より寄附金をいただきました ……P8

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

社協福祉のつどい 盛大に開催!!

11月17日（日）に
有田町福祉保健センター・社協会館において
25年度の社協福祉のつどいを開催しました。

岩永正太社協会長のあいさつのあと、有田町の福祉の増進に功績のあった7名の方の表彰とPR用ポスターを描いていただいた方の紹介を行いました。

受賞者等は次のとおりです。

民生委員児童委員の部

- 原田　金宏　様
- 副島　英俊　様
- 中野　学遠　様
- 池田　紀子　様
- 岩尾　富子　様
- 岩永　信隆　様

社会福祉施設職員の部

- 川久保　里子　様

つどいポスター作者

- 林田　華奈　様

（有田工業高校デザイン科 3年）

林田華奈さん(左)と
担任の浦郷先生。

表彰のあと、愛知県岡崎市の浄土宗西居院住職 廣中邦充氏による講演がありました。

廣中氏は、
全国から非行少年や引きこもりの子供たちを無償で自宅（寺）に預かり、社会復帰させる活動を続けておられます。

ボランティア団体や社協職員による物品や食のバザーが開かれ、つどいに元気と融和をもたらしてくれました。

ゆるキャラたちも応援にかけつけ、
会場に笑顔を運んでくれました。

つどいにあわせ、赤い羽根共同募金会では、募金の寄付者と募金配分金を活用して地域福祉活動を行っている団体とのパートナーミーティングを開き、参加者には輪投げゲームやあめすくいを楽しんでもらいました。

ミニ運動会で笑顔の花が咲きました

デイサービス「くつろぎ」

デイサービス「やすらぎ」

若つかもんには負けんばい！

シルバースポーツカーニバル

有田町老人クラブ連合会東支部のシルバースポーツカーニバル（運動会）が、10月23日（水）有田文化体育館で盛大に開催されました。

天候不順のため屋内開催となり、16単位クラブ約350名の会員が一堂に会し、ボール追いリレーや皿かぶり競争、玉いれ等13種目に汗を流しました。

この日は、くわこば保育園の園児たち30名と3名の保育士の先生が駆けつけ、運動会に花を添えてくれました。

また、ボランティアグループ「矢車草の会」の協力により、スムーズな運営がなされました。

昼休みには、赤い羽根共同募金にも協力いただき、ありがとうございました。

老人クラブ西支部では11月8日（金）に有田町体育センターでスポーツ大会が行われ、和気あいあいの内にゲームを楽しんでおられました。

朝の受付時には共同募金にご協力いただきました。

西支部のスポーツ大会

外出支援（バスハイク）でリフレッシュ

介護予防教室「フレッシュくらぶ」

“歳をとっても元気で介護要らずの生活が送れるように”を目的に、運動指導、栄養改善、口腔ケア等の介護予防教室を、社会福祉協議会が有田町の委託を受け開催しています。

日頃は、屋内での教室となりますが、年に一度は外出支援で外に出てリフレッシュをしています。

今回は、唐津のベゴニア園へマイクロバスで出かけました。

利用者からは、「めったによそ行きはせんけん、今日はとっても楽しかった。」「来年も行けるごと体操ばがんばらんばね。」との声が聞かれました。

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

子育て支援 ちろりん村 バスハイク

子育て支援の一環として毎月第2・第4火曜日に老人福祉センター「ちとせ」で開催している「ちろりん村」では、9月10日（火）にバスハイクを開催しました。

佐世保市鹿子前町にある西海パールシーリゾート九十九島水族館「海きらら」に行きました。未就園児をお持ちのお母さんとその子供さん15組33名、サポーターさん2名、担当職員2名の総勢37名は、マイクロバスを利用し、目的地に着きました。シーサイドの広場で手作りのお弁当をいただいた後、水族館に入り、お目当てのイルカショーを見学し、目を丸めて大喜びで拍手を贈っていました。

はればれクッキング教室

一人暮らしや高齢者夫婦を対象に、毎日をいきいきと過ごしていただくために、身近な食材を利用した料理教室を開催しています。栄養士・食生活改善推進協議会の皆さんのご指導ご協力により、“仲間づくり”、“料理作り”を楽しんでもらっています。

今年度は、6月から月1回の開催で始まったこの教室も11月13日（水）の教室で6回目（最終）を迎えました。

今回は、12名の参加があり、池田ハル子管理栄養士のご指導と食生活改善さわやか支部4名の会員さんの協力で、いわしのかば焼き・肉団子のスープ煮・ほうれんそうの白和えなどを手際よく調理されていました。

出来上がった料理は、皆で談笑しながら、会食を楽しまれていました。

高齢者サロンで心豊かな老後を作りましょう！

高齢者が住みなれた地域で、顔見知りの仲間と励まし合い、声掛けあって、楽しく愉快に同じ時間を過ごす。高齢者サロンは、家庭内に引きこもり・閉じこもりがちな高齢者や寝たきりや認知症の方の介護に携わっている高齢者を対象に「寄り合い」の機会を作り、健康で生きがいのある暮らしができるように支援する事業です。

平成22年度からスタートしたサロン事業は、現在10地区で、毎月1～2回程度それぞれの地区で開催されています。

ご芳志ありがとうございます。

寄付金の公表について

有田町社会福祉協議会では、町民の皆様からいただいた寄付金（香典返し等）については、寄付をいただく際に、寄付申込書にて寄付をされる方の意思をお伺いしております。

有田町社協としては、寄付者の意向を尊重し、寄付申込書にしたがって、下記のような公表をさせていただきます。

① 寄付者名・地区名、物故者名、金額全て載せてもいい。
② 寄付者名・地区名、物故者名までは載せて、金額は載せなくてよい。
③ 全て載せなくてもよい。

町民の皆様のご理解を賜りますようお願いします。

皆様からいただきました貴重な浄財は
社会福祉事業に幅広く使わせていただいております

〔寄付者にその意向をお尋ねした結果、一部記載がないところがあります。〕

●香典返し

【自 H25.9.1～ 至 H25.10.31】

寄付者名	地区	物故者名	金額
森永美佐子 様	赤　絵	江頭孝昭様	30,000円
西岡　義郎 様	上山谷	モト子　様	50,000円
岸川　浩之 様	千葉市	満　江　様	30,000円
光野ツヤ子 様	上山谷	一　文　様	30,000円
大串トシエ 様	本　町	幸　平　様	30,000円
樋渡　隆則 様	桑木原	マシ子　様	30,000円
髙橋　仁志 様	丸　尾	隆　三　様	30,000円
松尾陽一郎 様	戸　矢	美枝子　様	50,000円
朝重　利文 様	泉　山	津屋子　様	30,000円
川内美智子 様	桑木原	保　孝　様	30,000円
池田　俊彦 様	岳	美智子　様	50,000円
西原　則仁 様	泉　山	梅　子　様	20,000円
浅田　玉江 様	北九州市	西川ヒサ子様	30,000円
渕野　洋子 様	赤　坂	喜多幸子様	30,000円
馬場　久恵 様	中　樽	康　弘　様	50,000円
田中　秀範 様	広　瀬	末　義　様	300,000円
福田　初雄 様	北ノ川内	フジエ　様	30,000円
上野　絹代 様	白川(東京在住)	筒井文子様	200,000円
古川　法秋 様	北ノ川内	テル子　様	50,000円
榎田　勝美 様	南　山	ミチ子　様	50,000円
瀬戸口孝夫 様	黒牟田	英　二　様	30,000円

寄付者名	地区	物故者名	金額
林　龍　夫 様	仏ノ原	紀美子　様	50,000円
福島スミ子 様	楠木原	勝太郎　様	50,000円
前田　光陽 様	南　原	利　枝　様	100,000円
金ヶ江重綱 様	中の原	久家スマ子様	30,000円
岩永　茂樹 様	黒　川	マ　ス　様	寄付者の意向により金額は載せておりません
吉永トシ子 様	広　瀬	誠　様	
常盤マツヨ 様	桑古場	清　一　様	
池田　廣利 様	山谷切口	ミドリ　様	
池田　詔士 様	岳	スエノ　様	
谷下サツキ 様	二ノ瀬	大屋幸松様	
大屋　正二 様	二ノ瀬	アツ子　様	
小林　英樹 様	広　瀬	スエノ　様	
高橋　純孝 様	大木宿	伊佐夫　様	
熊野　黎子 様	外尾山	山口　和様	
木寺　宏臣 様	下内野	オツヨ　様	
川副　逸郎 様	南　原	島田文子様	
吉川　正勝 様	下山谷	正　明　様	
野口　和美 様	白　川	和　宏　様	

●物品寄付

【自 H25.9.1～ 至 H25.10.31】

田中　秀範 様	広　瀬	介護用ベッド

●一般寄付金

【自 H25.9.1 ～ 至 H25.10.31】

井手　キヨ子　様	戸　矢	―――	社会福祉事業資金
SAPジュニア隊　様		5,000円	社会福祉事業資金

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

教育支援資金貸付制度のお知らせ

平成26年度に高校や大学等に進学予定者で低所得世帯に属している方が、就学するのに必要な経費や入学準備金を、その世帯で捻出できない場合や、他から融資が受けられない場合に、佐賀県社会福祉協議会が取り扱っている生活福祉資金（教育支援資金）が利用できます。

対象とする学校は、学校教育法に規定する高等学校、短期大学、大学、高等専門学校となります。

日本学生支援機構の奨学金等を利用される場合は貸付できません。

・資金の種類と貸付限度額

①教育支援費

ア　高等学校　月額35,000円以内

イ　高等専門学校　月額60,000円以内

ウ　短期大学・専修学校専門課程　月額60,000円以内

エ　大学　月額65,000円以内

②就学支度費

入学に際し必要な支度費を行う経費　500,000円以内

・事前予約申し込み受付

平成25年11月1日～平成26年1月31日まで

・貸付の流れ

事前申し込み者の内容審査・内定、合格通知書写の受領、正式な決定通知書・借用書の発送、借用書等必要書類の受理。貸付金を借入人指定口座に送金貸付。

■お問い合わせ・事前申し込み受付

有田町社会福祉協議会（南原　福祉保健センター横）

電話　41-1315

高齢者介護でお困りの方は社協介護サービスをご利用ください。

高齢者介護でお困りの方は、社協介護サービスをご利用ください。

有田町社会福祉協議会では、居宅介護支援（ケアマネジメント）、訪問介護（ホームヘルプ事業）、訪問入浴介護事業、通所介護事業（デイサービス）を営業しております。

役場で要介護（要支援）認定を受けた方は、社会福祉協議会のケアマネージャーにご相談ください。

ケアマネージャーが利用者や家族のご要望をきき、その人に合ったケアプラン（介護計画）を作成し、1割で介護サービスを利用できます。

私たちケアマネージャーがお手伝いします。

■ご家族の介護でお困りの方は、まずはご相談を。

有田町社会福祉協議会　居宅介護支援事業所

電話　41-1315

心配ごと・法律相談所のお知らせ

期　日　12月17日（火）　1月21日（火）　（毎月第3火曜日です）

場　所　有田町社協会館（南原）

時　間
- 心配ごと相談（民生委員）9時から12時まで
- 法律相談（弁護士）13時から16時まで（法律相談は予約が必要です。）

予約先：有田町社会福祉協議会
☎41－1315

社協会費ご協力ありがとうございます

【自　H25.9.1～　至　H25.10.31】

【賛助会費】

（有）一休舎　様

（株）森商会　様

（株）フジタ　様

前田食品工業有限会社　様

イトウリビング　様

立派な車をいただきました

中外製薬株式会社から車いすやストレッチャーで乗車できる福祉車輌1台をいただきました。

10月29日に車輌の贈呈とお披露目式が有田町社協会館で行われ、中外製薬 川崎九州北営業部長から岩永正太社会福祉協議会長に車のキーが手渡されました。

中外製薬株式会社は、昭和60年より「在宅福祉移送サービスカー」を寄贈する事業に取り組まれており、今年度全国で寄贈された5台の内、1台を有田町社会福祉協議会にいただきました。

寄贈いただいた車輌は、デイサービスの送迎や、通院等を支援する移送サービス等、在宅福祉の支援に活用していきます。

高齢者 赤い羽根のつどい 開催

10月22日（火）福祉保健センターにおいて、一人暮らし高齢者の赤い羽根のつどいを開催しました。

共同募金運動期間中のイベントで、町内70歳以上の高齢者を対象に案内をし54名の参加があり、午前中、介護のお話しや紙細工、手遊びゲームなどを楽しんでもらいました。

昼食は、食生活改善推進協議会さわやか支部の皆さんのバイキング料理に舌鼓をうち、食後は、佐賀県警より業務委託を受けている地域安全指導員による寸劇「だまされんばい」を上演、笑いの中に防犯意識を高められました。

いも掘り体験 楽しかったヨ

子育てサロン ちろりん村

「こんなに大きな芋がとれたよ。」

6月にさつま芋の苗を植えて4ヶ月が経ちます。

ディサービスセンター「くつろぎ」（立部）横の畑ですくすく育ったさつま芋を、ちろりん村の親子が、10月29日いも掘り体験をしました。

土をさわることが少ないお母さんと子供たち20組の総勢49名が、この日はどろんこになりながら、芋ほりを楽しみました。収穫した芋は、11月12日（火）、ちろりん村で、芋スイーツを話輪の食楽クラブの方たちに作っていただき、みんなでおいしくいただきました。

さつま芋の栽培には、畑管理のサポーターの川尻ツヤ子さん、川尻恭子さんが夏の暑い中、草取り、散水などのお世話をしていただきました。ありがとうございました。

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

子育てサポーター養成講座 開催

10月8日（火）老人福祉センター「ちとせ」にて子育てサポーター養成講座を開催しました。

今回は、子育て支援「ちろりん村」を活用し、佐賀女子短期大学子育てコミュニティーカレッジの吉牟田美代子先生を講師に迎え、実際に子どもたちとふれあいながら講義を受けました。

参加した子育てサポーター9名は、いつもと違う託児環境の中で、子どもたちと関わりながら、日頃サポーターが何気なくかけている言葉が、子供の成長を促したり、母親の育児に安心感を与えることになるということを学びました。

今まで以上にサポーターとしてのやりがいと自信につながった講座となりました。

傾聴ボランティアスキルアップ講座

10月28日（月）スキルアップ講座4回目を開催しました。今回は実習の形式で、受講生14名は、有田町中樽にある有料老人ホーム「ありた」、デイサービス「ふれんど」、宅老所「ふれんど」を訪問しました。

受講者二人一組で、一人の利用者の話を傾聴し、なごやかな中に傾聴のスキルを磨いていました。

傾聴ボランティア「ひびきの会」会員は、介護施設や個人の自宅を訪問し、高齢者の方のお話しを傾聴し、心の安らぎを届けています。

傾聴ボランティア派遣をご希望の施設や町民の方は、有田町社会福祉協議会ボランティアセンターに申し込みください。

電話　41-1315　担当／引田

ありた演友会より寄附金をいただきました

11月10日（日）に炎の博記念堂において、カラオケ発表会を開かれた、ありた演友会（代表　髙川喜様）より、会からの寄付金と発表会参加者からのチャリティー募金を合わせて、5万7、615円の寄附を、社会福祉協議会の事業費にいただきました。

演友会では、毎年寄附をなされております。本当にありがとうございました。

寄付金を渡す髙川さん

車いすをいただきました

佐賀新聞創刊130周年を記念し、県内に300台、内有田町に8台を寄贈され、その内1台は、社協デイサービスセンター「くつろぎ」にいただきました。

10月11日（金）に「くつろぎ」で贈呈式があり、利用者に早速乗車してもらい、乗り心地を体感してもらいました。

利用者からは「こがん立派な車いすをいただき、ありがとうございます。大事に使わせていただきます。」との声が聞かれました。